

府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会
等関連事業推進プロジェクト基本方針

平成27年11月

府中市

1 策定の趣旨

平成31年に開催されるラグビーワールドカップ2019（日本大会）及び平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「オリンピック等」といいます。）は、スポーツの祭典として、スポーツを起点に観光や文化など多様な分野で新たな発展や質的向上をもたらすことが期待されています。

本市では、オリンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶好の契機として捉え、本市の持続的な発展へとつなげるため、地域スポーツの振興、観光客の増加などのレガシー¹の創出を図ります。

この基本方針は、オリンピック等の開催に向け、本市における地域活性化を図る取組の方向性を示しています。

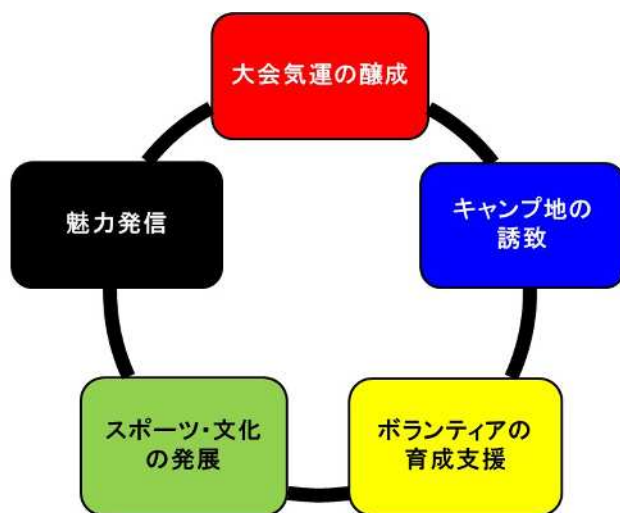
2 取組の方向性

(1) 取組の基本的な考え方

オリンピック等の開催を契機に、スポーツタウン府中の更なる推進を図るとともに、本市の魅力を世界に発信します。

さらに、未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、都市としてのにぎわいと活力を生み出し、本市が持続的に発展することを目指し、市民との協働により全市を挙げて、オリンピック等の成功に向けた取組を推進します。

(2) 取組の方向性 ～5本の柱～



1 レガシー：オリンピック等の開催に伴って生み出される後世に残すべき有形又は無形の遺産のこと。

ア 大会気運の醸成

オリンピック等は、市内及び本市の近隣で開催される予定であることから、開催に向けた気運を高める取組を実施するとともに、未来を担う子どもたちへ向けた取組を次のとおり実施します。

(ア) 取組

- a 気運を高めるイベント・スポーツ大会の実施
- b 啓発物品等の配布
- c オリンピック教育の推進
- d 市内の関係団体及び大学等の教育機関との協働による取組の実施
- e 東京都及び近隣自治体と連携した取組の実施
- f 聖火リレーの誘致

(イ) 取組によるレガシー

- a スポーツへの参加意識向上
- b オリンピック教育の充実
- c 自治体連携の強化

イ キャンプ地²の誘致

本市は、オリンピック等の開催場所から近いという立地性及び市内を活動拠点とするトップチームを有するという優位性をいかし、オリンピック等の参加選手等と市民との交流を目的に、次の取組を実施します。

(ア) 取組

- a 国内外に向けたキャンプ地の誘致活動
- b キャンプ地の受入れに必要な整備の検討
- c 市内を活動拠点としているトップチームとの連携

(イ) 取組によるレガシー

- a 国際交流の機会の拡充
- b 本市の知名度の向上

2 キャンプ地：オリンピック等に参加する選手及びチームが、大会前又は期間中に練習、調整等を行う場所。

ウ ボランティアの育成支援

オリンピック等の開催に当たり、大会全体で数万人規模のボランティアが必要とされることから、本市においても東京都、オリンピック等の各組織委員会等と連携しながら、市民のボランティアへの参加を支援することを目的に、次の取組を実施します。

(ア) 取組

- a 市民のボランティアへの参加の促進
- b 大会ボランティア、都市ボランティア等の育成支援

(イ) 取組によるレガシー

- a ボランティアに対する意識の向上
- b 市民協働意識の醸成

エ スポーツ・文化の発展

オリンピック等の開催に向けて、スポーツに対する関心の向上、健康への意識の醸成、障害者に対する理解の深化、本市の文化の発展を目的に、次の取組を実施します。

(ア) 取組

- a スポーツを「する」「観る」「支える」環境の充実
- b 障害者スポーツの振興
- c 文化プログラム³の発信

(イ) 取組によるレガシー

- a 地域に根ざしたスポーツタウン府中の発展
- b 障害者スポーツを通じた障害者に対する理解の深化
- c スポーツや文化を通じた本市への愛着・誇りの醸成

3 文化プログラム：オリンピック憲章において定める、開催国の文化を世界に発信するために行うイベント等の計画のこと。

オ 魅力発信

オリンピック等の開催期間中は、国内外から多くの方々が観戦に訪れることから、本市の魅力を発信し、観光振興につなげるほか、参加国等との交流を図ることを目的に、次の取組を実施します。

(ア) 取組

- a 観光資源の発信
- b 国内外の来訪者の受入整備の検討
- c ホストシティ・タウン構想⁴への参加

(イ) 取組によるレガシー

- a 国内外の観光客の増加
- b 地域経済の活性化

3 推進体制

(1) 庁内組織

ア 府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進本部

オリンピック等の開催に伴う本市における関連事業を推進するため、市長を本部長、副市長及び教育長を副本部長とし、部長級で構成する推進本部を設置します。

イ 府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業検討部会

本市が実施する関連事業の推進に際し、必要な調査及び検討を行うため、関係課長級で構成する検討部会を設置します。

(2) 府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進市民会議（仮称）

本市が実施する関連事業の推進について、市民等との情報共有を図り、全市を挙げて施策を講じるため、市民、市民団体等で構成する市民会議（仮称）を設置します。

4 ホストシティ・タウン構想：オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツ立国・グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、希望する自治体を「ホストシティ・タウン」として登録し、当該自治体と参加国・参加地域との相互交流を図る取組のこと。

4 スケジュール

オリンピック等が終了する平成32年度までのスケジュールを次のとおり示します。オリンピック等の開催後についても可能な限り関連事業を継続し、レガシーを創出します。

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
主な事業(作業)	基本方針策定	各取組の立案	各取組の実施			各取組の継続
大会気運の醸成	イベント・取組の検討	イベントの実施等による気運醸成				聖火リレー
キャンプ地の誘致	キャンプ地の立候補 受入整備の検討	キャンプ地の誘致活動 受入整備の実施				レ ガ シ ー
ボランティアの育成支援	東京都・組織委員会等から情報収集					
	ボランティア施策の検討	ボランティア教室・イベントの実施				
スポーツ・文化の発展	スポーツイベントの検討	スポーツイベントの実施				
	文化プログラムの検討及び実施					
魅力発信	観光客に対する受入検討 観光資源の検討 ホスト・シティタウン構想の検討	観光客へのおもてなしに向けた準備・観光資源の発掘 国際交流の実施				